

大腸癌に対する sLV5FU2+Bevacizumab療法

(レボホリナート+フルオロウラシル+ベバシズマブ)

)RPHW_)RPHW_)

2008年07月08日 承認

Dr.sign

Ns.sign

Ph.sign

病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>> 様	<<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日	実施サイクル	【調製指示】			
	月 日 ~ ()	コース目	□調製可 □TEL連絡後調製			
備考[標準投与量逸脱など]			放射線併用			
			□有 □無			

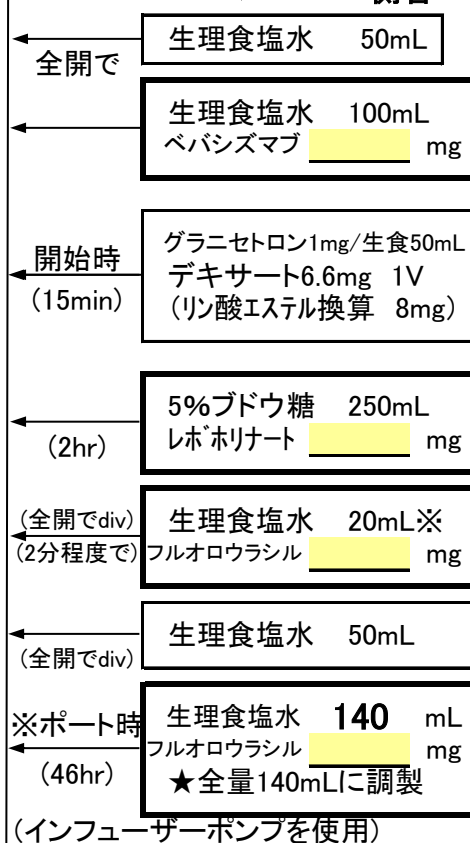
Day1 (/)

本管(中心静脈ポート)

ルート確保後、主管は止めること

生理食塩水 100mL

側管



初回 : 90分かけてdiv
↓ (忍耐力良好)
2回目 : 60分で投与可
↓ (忍耐力良好)
以降 : 30分で投与可

※50mLの容器から
30mLを破棄

終了後に自己抜針

(初回は本人及び家族に指導し、
自己抜針してもらう)

sLV5FU2+Bevacizumab療法

標準投与量:

(1st line) (2nd line)

Bev	5 or 10 mg/kg	day1
I-LV	200 mg/m ²	day1
5-FU	400 mg/m ²	(bolus)
5-FU	2,400 mg/m ²	(46hr持続)
2週毎		